

社会福祉法人 江松会 花園保育園

# 事業所概要：花園保育園

花園保育園は北九州市の小倉南区と北区との境にあります。臨済宗妙心寺派の寺院「泰清寺」の境内地にあり、大通りから参道を奥に入った静かな環境で元気に保育を行っています。

経営主体 社会福祉法人 江松会

理事長 伊賀良 昌山

施設名

花園保育園

園長 伊賀良 昌宏

設立認可

昭和50年11月22日

開園年月日

昭和51年6月1日

園児定員

70名

職員

11名（常勤）

主任保育士 1名

保育士 7名

事務員 1名

調理員 1名

用務員 1名

この他に、非常勤が11名います。



# 花園保育園

## ■ チームのありたい姿と達成度

チームのありたい姿	達成度 (キックオフ時)	達成度 (現在)
従業員の待遇を改善し、働きやすい快適な環境を作る。	20%	40%

## ■ 中間報告会までに実施したアクション

	取組を通じて 見えてきた課題	実施した 具体的なアクション	成果・気付き・変化 (コスト、意欲、健康、ライフでの活動など)
1	職員や保護者との連絡について、どうすれば漏れなくタイムリーにできるか？	情報共有アプリの導入及びSNSとの連携	これにより、通常の業務の作業が軽減され、また、保護者にも漏れなくタイムリーに園の情報を伝えることができた。
2	人手が足りないことによる業務量の負担をどう軽減するか？	保育園支援業務システムの導入	これにより、園児一人一人の出席確認から、健康状態の把握まですることができた。
3	従業員の休憩時間をより充足させるにはどうしたらよいか？	職員給食の提供及び休憩中の業務の分散化	従業員の休憩中のあり方について、より意識するようになった。
4			
5			
6			
7			

## 情報共有アプリの導入及びSNSとの連携①

今まで、職員や保護者への連絡及び報告は、口頭やホワイトボードによる掲示、連絡帳に記入する等のアナログ手法で行っていた。

毎日必ず発生する業務であり、また、連絡漏れやミスがない様、大変気を遣う作業でもあった。

この作業にかかる時間や精神的な負担を減らすべく、当園では、情報共有アプリの「きっずノート」やSNSの「Facebook」を導入した。これにより、

- ① 園児一人の連絡帳作成時間が大幅に短縮
- ② 連絡帳の既読未読を確認
- ③ お知らせ未確認の保護者の確認

等、連絡帳管理、連絡・報告事項の管理まで一気に解決を図ることができた。

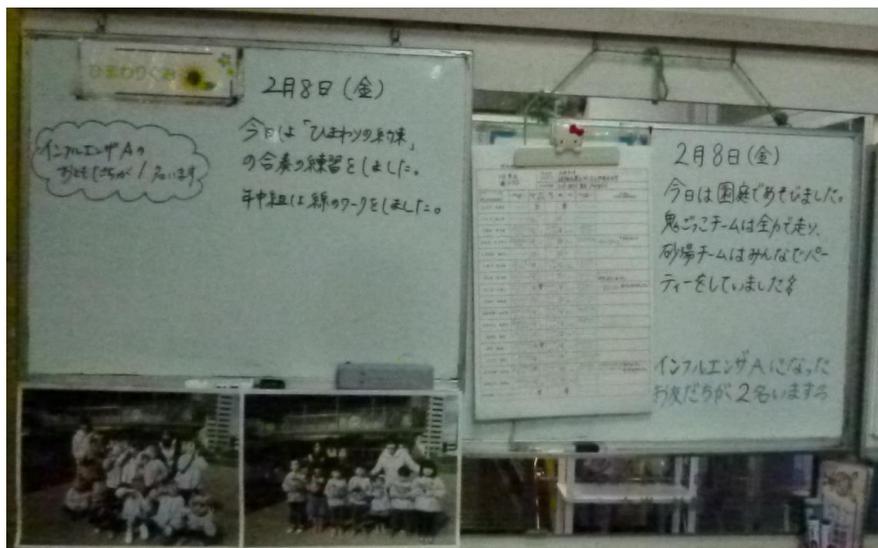


## 情報共有アプリの導入及びSNSとの連携②

また、報告・相談・連絡に費やす時間が大幅に削減できたうえ、他にも、リアルタイムで情報を確認できるので、連絡や確認ミスから発生する無駄な作業も削減された。

結果として、今までかかっていた報告、連絡業務の作業量が従来の1/5までに減少した。

導入前



導入後



## 保育園支援業務システムの導入

今まで、園児一人一人の登園・降園時間、出席の時間帯等の日々の記録や、月末の集計作業を、手書きで行っていたため、かなりの時間を取られていた。

今回、保育園支援業務システムの「園総合管理システムひまわり」を導入することにより、例えば、登園・降園時間を手書きで記録していたのが、タッチパネルにタッチするだけで、その記録及び集計作業まで自動的にしてくれるので、作業量とそれにかかる時間が大幅に短縮できた。

また、これと連携して、園児一人一人の身長や体重等の健康状態の記録も自動的にしてくれるので、こちらの作業についても負担の軽減が図れた。



No.	園児名	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	13日	14日	15日	16日	17日	18日	19日	20日	21日	22日	23日	24日	25日	26日	27日	28日	出席	欠席	その他	
1	大塚 翔	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	藤田 誠	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	田中 花	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	佐藤 心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	山本 心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	三浦 心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	高橋 心	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

## 職員給食の提供及び休憩中の業務の分散化

今まで、午後1時から3時までの園児のお昼寝の時間の際に、休憩を取ってもらっていたが、休憩中にも連絡帳記入業務、保育の記録をすることもあり、満足に休憩が取れていなかったため、休憩時間がより充足できるよう、下記の取り組みを行った。

- ① 今まで休憩時間中にしていた業務については、他の余力がある職員に応援してもらうことで、業務の負担の分散を図った。
- ② 休憩時間の質を高めるため、職員の健康面での充足も考えて、職員給食の提供を始めた。



# 花園保育園メンバーの感想とメッセージ

## ■ チームメンバーご紹介と感想

氏名	具体的な貢献内容・役割
園長	今回のワークライフバランスの責任者でもあり推進者。また、そのための情報収集を担当する。
主任保育士	ワークライフバランスの目標を達成するために、現場の実態を把握する。園長から職員に対して、ワークライフバランスを実践する橋渡し役を務める。
保育士	ITの分野に明るい保育士。新しく生産効率を高めるシステムを導入する際は、この方が試し、他の職員に教える。

氏名	具体的な貢献内容・役割

## ■ 最終報告会に向けたアクション

	課題と感じている現在の状況	チームで取組可能なアクション
1	職員の不足による、現状の業務の負担をどうするか？	業務の負担を軽減し、働きやすい環境を作ることで、人が応募しやすい職場環境を作る。また、職員の目線で、業務の生産効率を意識させ、直接意見やアイデアが出せる環境を作っていく（アンケートの実施など）
2		
3		

## ■ 上記達成のために会社・他部署に協力してもらいたいこと

# 今後、取り組みを始める企業担当者へのメッセージ

花園保育園では「健康で安全な生活のため基礎的習慣を身につけさせる」、「遊びを通して集団生活への適応性をつちかう」、「心優しい子を育てる」の理念を掲げて今までも保育を行ってきました。

この理念を掲げられるのも、保育士をはじめとする職員の力によるものが大変大きいと実感しています。保育所は社会の中で仕事と子育ての両立を支えているものだと思っていますが、それに従事する職員が今の職場で快適に長く働いてもらうためにも、ワークライフバランスの取り組みは避けて通れないものであると感じ、今回の取り組みに参加しました。

通常業務を行いながら、更なる業務の改善点や効率化のポイントを絞り出していったりとワークライフバランスに取り組むのは本当に大変なことだと思いましたが、これから、ますます出生率の低下による労働力人口が不足していく中、今まで以上に職員の採用が難しくなるのは確実であると感じます。

これから応募する方に「ぜひここで働きたい」と思わせる職場を作るためにも、ぜひ、今のうちに業務を見つめ直すことを小さなことから始めて、まずは今の職場の方が働きやすいと思う環境をつくることから、取り組んでほしいと思います。